

2/22
5頁

市民は団結野党は共闘

新潟総がかり行動委など集会

「戦争法廃止」総がかり行動in新潟実行委員会」と「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める新潟市民連合」は21日、新潟市で共同の集会を開きました。会場いっぱい約450人が参加し、「戦争法は今すぐ廃止」「市民は団結、野党は共闘」などと唱和しました。憲法センターの赤沢

富美子氏が「2000万署名をやり遂げ、参院選で戦争法廃止を一大争点に押し上げよう」とあいさつ。

野党5党代表があいさつし、民主党県連の内山五郎幹事長は「県民の幅広い願いにこたえ、安倍政治とたたかっていく」と表明。日本共産党の渋谷明治原議は「市民連合の三つの

公約と2000万署名達成で全力を尽くす」と言明。社民党、生活の党、緑の党からも決意表明がありました。

市民連合の佐々木寛共同代表は「新潟で野党5党が統一候補擁立で初めて懇談した。市民の運動が押し上げた。これほど国民を侮辱した政権はなく、参院選でお返ししなければ



戦争法廃止、野党共闘を唱和する参加者=21日、新潟市

ば」と訴えました。憲法センターの佐藤一弥代表は「60の寺院から182人の署名が返送されている。8千枚の意見広告ポスターも活用しながら、30万署名を達成したい」と強調。平和運動センターの斎藤悦男議長は「野党統一候補擁立も訴えながら、署名目標と表明しました。達成へ頑張っていく」